

専門基礎分野 授業計画

| | | |
|---|---|---------|
| 授業科目及び時間数 | 栄養学 1 単位 30 時間 | |
| 開講時期 | 1 年次 前期 | |
| 担当教員 | 新井英一・星智子 | |
| <p>科目のねらい・到達目標</p> <p>生命の維持、成長、及び臓器・組織の正常な機能の維持、エネルギー生産のために必要な栄養素とその適正量、合理的な摂取方法について学ぶ。</p> | | |
| 授業計画・内容・担当教員 | | |
| 1 回目 | 1. 生命維持のための栄養の役割 | 講義 (新井) |
| 2 回目 | 1. 栄養素の種類と働き (1) 食品群および食品のエネルギー | 講義 (新井) |
| 3 回目 | 1. 栄養素の種類と働き (1) 多量、微量栄養素 | 講義 (新井) |
| 4 回目 | 1. 栄養素の消化・吸収・代謝 (1) | 講義 (新井) |
| 5 回目 | 1. 栄養素の消化・吸収・代謝 (2) | 講義 (新井) |
| 6 回目 | 1. 食事摂取基準とエネルギー出納 (必要量と消費) | 講義 (新井) |
| 7 回目 | 1. ライフステージと栄養 1) 乳児期 2) 幼児期 3) 妊娠・授乳期 4) 老年期 | 講義 (新井) |
| 8 回目 | 1. 食事療法の位置づけ 1) 食事療法の意義 2) 医療保障制度と栄養食事療法 3) チーム医療と栄養食事療法 4) 栄養管理の方法 5) 病人食の特徴と種類 | 講義 (星) |
| 9 回目 | 1. 糖尿病の食事療法 | 講義 (星) |
| 10 回目 | 1. 循環器疾患の食事療法 | 講義 (星) |
| 11 回目 | 1. 腎臓病の食事療法 | 講義 (星) |
| 12 回目 | 1. 肝胆膵疾患の食事療法 | 講義 (星) |
| 13 回目 | 1. 消化器疾患と術前後の食事療法 | 講義 (星) |
| 14 回目 | 1. 高齢者の食事と特徴 呼吸器疾患の食事 | 講義 (星) |
| 15 回目 | 終了試験 | |
| 評価方法 | 終了試験 筆記試験 100%: 新井 (50%) 星 (50%) | |
| 受講生に対するメッセージ | <p>「食べることは生きること」。患者のみならず、健康を維持するために必要な栄養素。栄養素の役割、種類、体内での反応を理解することが、医療従事者としての基本です。</p> <p>生活の中で、身近な存在です。自分や家族のことを考えると自ずと理解を深められると思います。看護師に対する社会の要望は強く、研究、学ぶ態度をもち、保健医療チームの一人として、相手の気持ちがわかる人間に成長してほしいです。</p> | |
| テキスト | <p>系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能③ 栄養学 医学書院</p> <p>系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院</p> <p>糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版 文光堂</p> | |
| 参考書 | | |